

LEDY-BAR

取扱説明書 Ver.1.13

2008.10.29

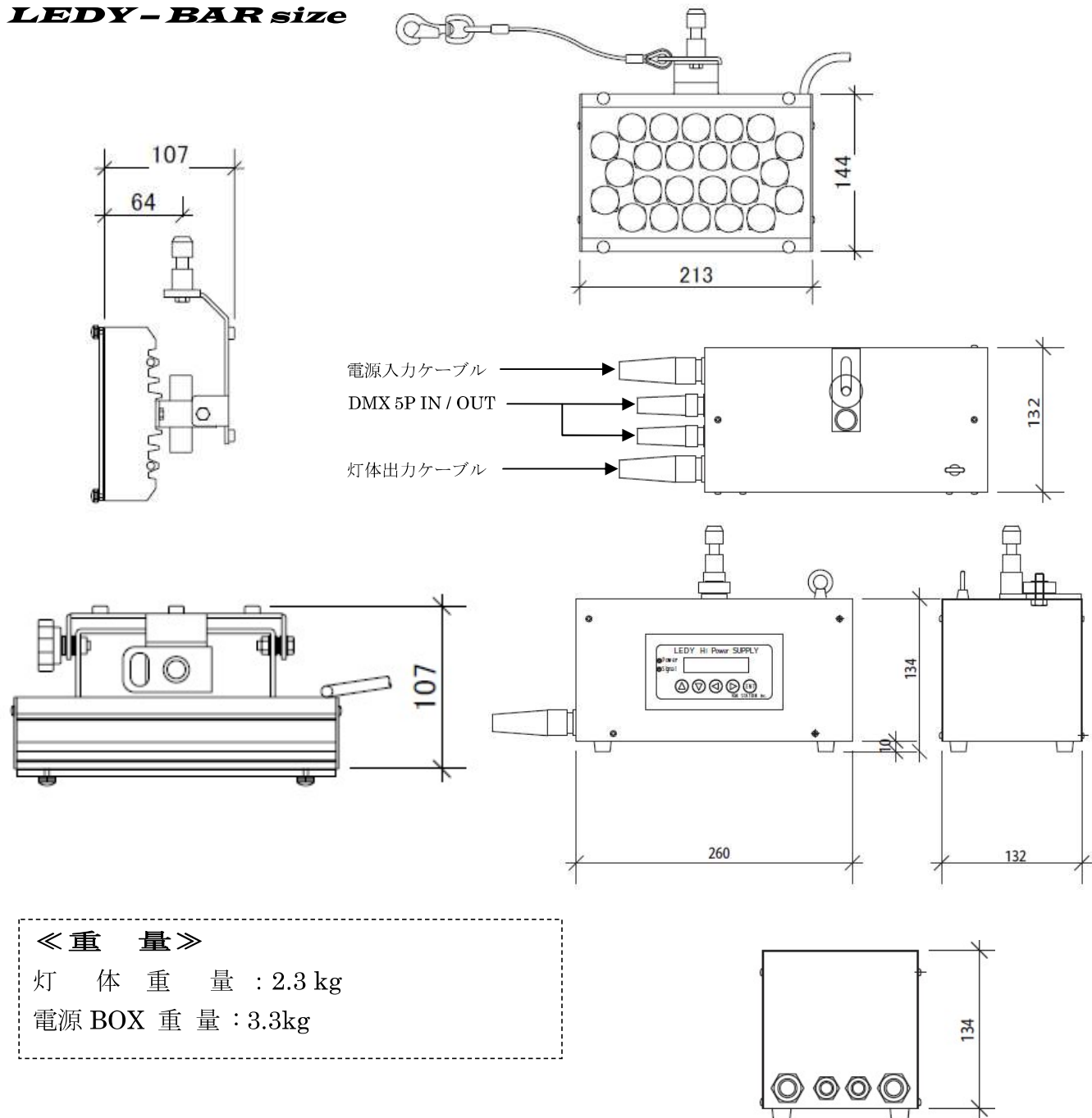
- 2、LEDY-BAR サイズ図面
- 3、仕様書
- 4、パワーサプライ仕様説明概略
- 5、Intensity 説明 Address 設定
- 6、DMX 番号による設定
- 7、Set-up Mode Set-up の仕方
- 8、Time-Delay、 DMX-Signal、 Power-Save Mode、
- 9、LCD – Backlight、 Operation Lock、 Exit Set-up、
- 10、SCENE MODE Scene の作り方。
- 11、
- 12、
- 13、Goto Scene PLAY シーンの再生方法。
- 14、
- 15、
- 16、CHASE シーンの作り方。
- 17、
- 18、
- 19、CHASE シーン再生方法。
- 20、MODE システム概要
- 21、SCENE、CHASE システム概要、
- 22、注意事項



株式会社 ケイエムステーション



LEDY - BAR size



<<重量>>
 灯体重量 : 2.3 kg
 電源 BOX 重量 : 3.3kg

1.型式

LEDY-BAR

2.構成

名称	仕様概要	数量
SPOT 本体 (灯体)	アルミダイキャスト製灯具	1 台
電源 BOX	電源 BOX	1 台

3.仕様

番号	項目	諸元
1	供給電源	AC90V～240V 50/60Hz
2	定格消費電力	90VA 以下（全色最大出力時） #R:25 #G:28 #B:28 #Am:29 #W:36 (VA)
3	LED 型式	LUXEON K2

4	LED 数量	#R,#G,#B:各 4 個 #Am,#W:各 6 個 = 24 個
5	配光角	5 度
6	LED 冷却方法	ファン
7	制御信号	DMX512 5PXL R コネクター-IN/THRU 2m コードつき
8	入力電源接続	3P 平行 (2P E 付き) プラグコード 2m コードつき
9	絶縁抵抗	交流電源入力端子一括 対 筐体間 DC500V、10MΩ 以上
10	絶縁耐圧	交流電源入力端子一括 対 筐体間 AC1500V、10mA、1 分間

12	材質	灯体	ヒートシンク アルミ、アーム SUS304
		電源	外箱 SUS304
13	表面処理	灯体	黒色アルマイト
		電源	焼付け塗装 黒 3 分艶
14	使用温度範囲	0℃～+40℃	
15	使用環境	腐食性ガスや塵埃のないこと、過大な振動や衝撃のないこと	
16	外形寸法	別紙外形図参照	
17	重量	灯体	2.3 k g
		電源	3.3 k g

1. DISPLAY 表示

電源を入れると 図のように表示されます

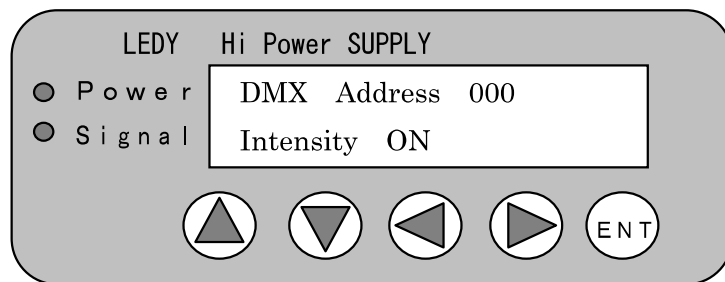
設定内容 : DMX 番号 又は灯体番号

: Intensity ON or OFF

Power Lamp 表示 赤

Signal 表示 緑 DMX 受信状態

※ Signal Lamp 緑 がランダム点滅の場合
DMX 信号が不安定な状態



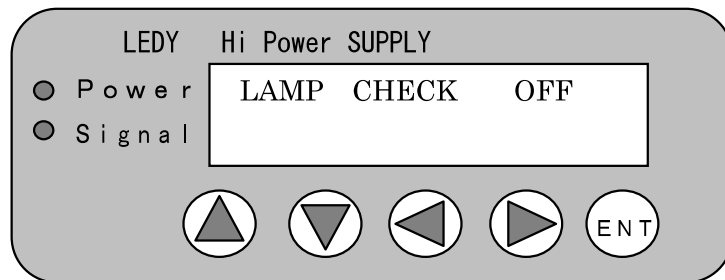
LAMP CHECK

ボタンを 1 度押すと “LAMP CHECK”
モードに入ります。

ボタンを押し “LAMP CHECK ON”
表示にします。

ボタンを押し ランプを点灯させます
(全色点灯します) ※仮シュート時にお使いください。

ボタンを押し “LAMP CHECK OFF” 表示にし ボタンにて 消灯してください。



Intensity

※使用コンソールに伴う Ch の設定

パーソナリティーを使用し設定する (AVO, Hog, GMA など)

※Intensity-“ON”(9ch)

CH-1 Intensity

CH-2 #B

CH-3 #G

CH-4 #R

CH-5 #Am

CH-6 #W

CH-7 Strobe

CH-8 Mix-color/ 1

CH-9 Mix-color/ 2

※ MIX-Color / 1

1. #R

2. #Am

3. #LA

4. #Y

5. #YG

6. #LG

7. #G

8. #BG / 1

9. #BG / 2

10. #Cyan

11. #LB

12. #B

13. #DB

14. #Congo

15. #MG

※ MIX-Color / 2

1. #W-Full

2. #A-1

3. #A-2

4. #A-3

5. #A-4

6. #B-1

7. #B-2

8. #B3

9. #B-4

10. #Pu-1

11. #Pu-2

12. #Pu-3

13. #Pu-4

★ Intensity “OFF”(6ch)

1. #B

2. #G

3. #R

4. #Am

5. #W

6. Strobe

Intensity



ボタンにて Display 表示

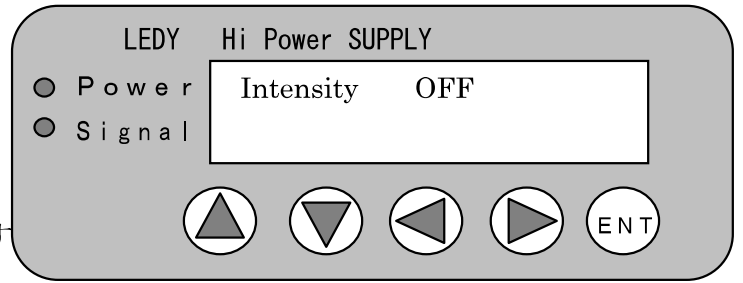
“Intensity”



ボタンにて “ON” ” OFF “を表示す



ボタンにて確定する。



DMX、Address 設定

※DMX の設定には 2 通りあります。

1. SPOT-番号による設定
2. DMX 番号設定

注意！！

DMX,SPOT-Address は”Intensity”によって左右されますので 必ず “Intensity”を設定後にしてください

1. Spot-Address による設定



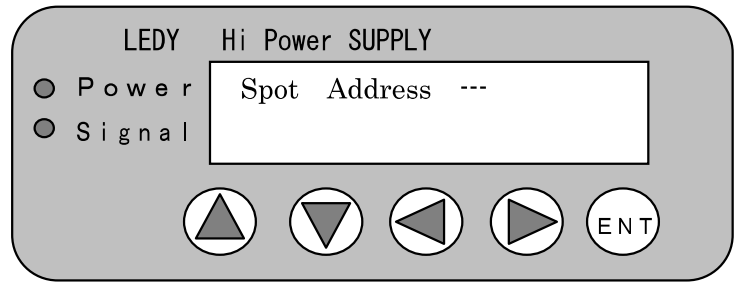
ボタンにより “Spot Address----”
を表示します。



ボタンにより 任意の番号を表示させます。







ボタンにより確定




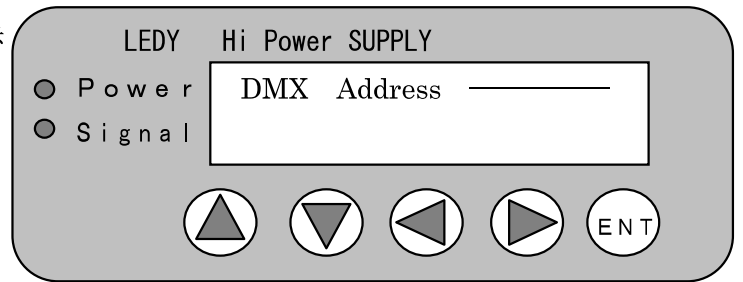
Add 番号	DMX 番号	Add 番号	DMX 番号	Add 番号	DMX 番号	SPOT 番号	DMX	SPOT 番号	DMX	SPOT 番号	DMX
1	1	11	91	21	181	1	1	11	61	21	121
2	10	12	100	22	190	2	7	12	67	22	127
3	19	13	109	23	199	3	13	13	73	23	133
4	28	14	118	24	208	4	19	14	79	24	139
5	37	15	127	25	217	5	25	15	85	25	145
6	46	16	136	26	226	6	31	16	91	26	151
7	55	17	145	27	235	7	37	17	97	27	157
8	64	18	154	28	244	8	43	18	103	28	163
9	73	19	163	29	253	9	49	19	109	29	169
10	82	20	172	30	262	10	55	20	115	30	175
Intensity – ON 9ch 仕様						Intensity ---- OFF 6ch 仕様					

2. DMX 番号設定

  ボタンにより “DMX Address” を表示

  ボタンにより DMX 番号を選択



 ボタンを押し 確定





☆☆☆ 数値早送りの方法

DMX 番号、Address 番号などの数値を早送りには

 ボタンを押しながら   のどちらかのボタンを押し続ける

数値が早送りになります。早送りを解除するには、  ボタンから指を離してください。

数値が行き過ぎた場合は、 ボタンにて数値を戻してください。

数値の早戻し操作も同様です。 ボタン操作が  ボタンに変わります。

MEMO

Set - UP Mode

Set-UP Mode 設定事項

1. CURVE

- Slow-Bottom (スローな立ち上がりカーブ)
- Slow-curve+Flash (カーブは”Slow-Bottom”より少し粗め 0-100%の反応を重視)
- LEDY-Spot60-Mode (LEDY-SPOT60 と併用する場合に使用します。)
- MARBLE-Mode (MARBLE と併用する場合に MARBLE の”Curve-SS”と同じ Curve になります。)

2. Time Delay

一般調光、ムービングなどの 点灯のタイムラグを調整します。

3. DMX Signal

DMX ケーブルが使用中に抜けたり、断線した場合 直前のデーターを保持 もしくは消灯の 2 種類を選択します。

4. POWER Save Mode

長時間全点灯時に 全出力を 15%抑えます。

(展示会など 全色使用して#W を出力する場合などに使用)

※詳しい説明は 次のページ “POWER SAVE “にて

5. LCD Backlight

Display のバックライト ON or OFF 動作移行時間 30 秒

6. Operation

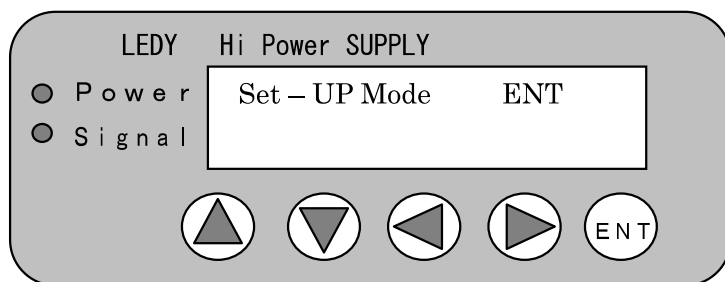
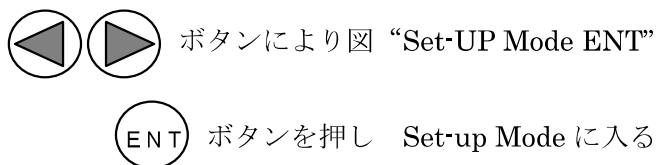
Intensity, Address,など各種設定事項のロックをかけます。

7. FAN Control

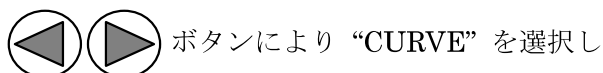
5 5°にて、自動的にFANが回り始めます。(Auto-25%)

8. EXIT Set-UP Mode

SET-UP 設定の方法





1. CURVE (default =Slow-Bottom)



- Slow-Bottom(default), スローな立ち上がりカーブ
- Slow-curve+Flash, カーブは”Slow-Bottom”より少し粗め 0-100%の反応を重視
- Lady-Spot60 Mode, Ledy-spot60 と併用する時に使用。
- MARBLE-Mode ,MARBLE と併用する場合に MARBLE の”Curve-SS”と同じ仕様になります

4 種類から選択し ENT を押し確定



2. Time Delay (default = 0.06sec)




  ボタンにより “Time Delay” を選択

  ボタンにて 下記図の Time Delay を選択し  ボタンにて確定

1(default)	2	3	4	5	6	7	8	9
0.06sec	0.00sec	0.03sec	0.10sec	0.15sec	0.20sec	0.25sec	0.30sec	0.50sec

3. DMX Signal (default = Hold-ON)

  ボタンにより “DMX Signal” 選択

  ボタンにて “Hold-ON” “Hold-OFF” 選択し  にて確定

※Hold-ON 卓からの信号が遮断（ケーブル断線、コネクター抜け）された場合に 直前のデータ（default）を保持します。

※Hold-OFF 卓からの信号が遮断（ケーブル断線、コネクター抜け）された場合に 点灯している場合は消灯します。

注意！！

Holo-ON にしている場合 次のデータが送られるまで 保持いたします。
消灯する場合は電源によるリセットを行います。



4. POWER-Save Mode (default = OFF)




LEDY SPOT は LED 基板、電源部をセンサーにより温度管理をしています。このため LED 基板温度 80℃、電源部分 65℃を超えた場合、センサーにより LED 基板 電源ドライバーの出力を押さえる機能があります。

POWER-SAVE Mode を使用することにより 長時間の全色全点灯によるセンサーの働きを抑止します。展示会などによる 長時間 全色を使用して#W を出力する場合にご使用ください。

POWER-SAVE を “ON” に設定すると全体の出力を 15%抑えます。

5. LCD Backlight (default =Auto- OFF)



  ボタンにて “LCD Backlight” を選択




  ボタンにて “ ON “ “ Auto – OFF “ 選択し  にて確定。

※ Auto – OFF 設定 30 秒後 消灯します。 また、 Display 操作ボタンを押すと LCD Backlight は点灯し 30 秒後に 消灯します。


※ ON – 常時 LCD Backlight が点灯しています。

6. Operation (default = Lock – OFF)



  ボタンにて “ Operation “ 選択



  ボタンにて “ Lock – ON “ “ Lock – Off ” を選択  ボタンにて確定。


Lock-ON 解除方法

 ボタンを 5 秒以上押してください。 Lock が解除されます。

7. FAN Control Mode


  ボタンにて “ FAN Control Mode “ 選択

  ボタンにて “ Auto- 2 5 % “ “ 5 0 % FAN-Speed ” “ 1 0 0 % FAN-Speed ” F A N - O F F

 ボタンにて確定。

8. EXIT Set-UP Mode

Set-UP Mode から の離脱

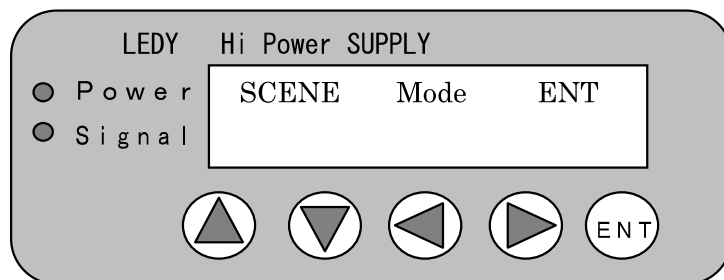
 ボタンを押すことにより “Set-UP Mode” より 離脱いたします。

MEMO

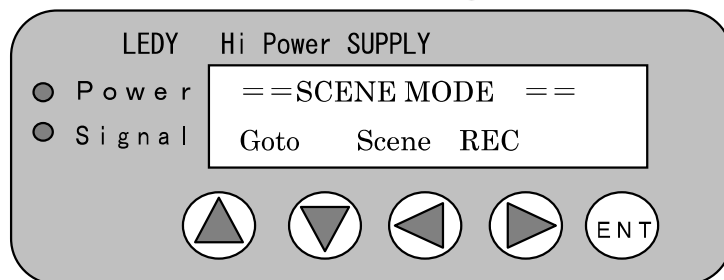
SCENE MODE

- ・シーン 999 scene
- ・CHASE 10 scene
- ・CHASE Time Fade-IN 0"~3000"
- ・WAIT - Time 0"~3000"

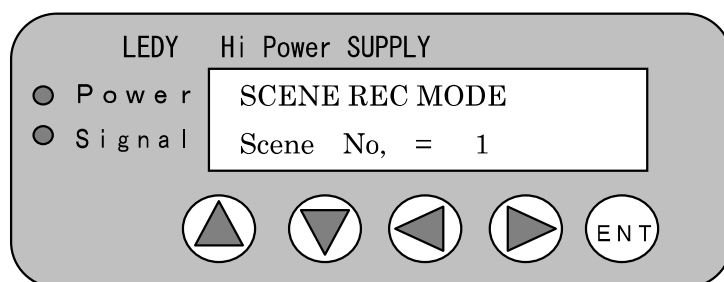
SCENE の作り方



- ① SCENE Mode ENT → ENT を押す。



- ② Goto Scene REC → ENT を押す



- ③ Scenen No, ▲ ▼ ボタンにて “シーン No” を決め
ENT ボタンを押す。

※シーンの color の作り方は3種類あります。

1、Mix Color Input あらかじめMIX-Color

#14,#16,#17,#18,#22,#31,#33,#35,#37,#38,#40,#45,#52,#55,#57,#59,#64,#65,#67,#DB,#72,#75
#78,#79#83,#84,#85,#87,#88,#Pu-4,Cool#W,#W の33色（一部ポリカラーと同じ色調ではありませんので参考にして下さい。）が用意されており、各 Mix Color の明るさ（Intensity）も調整できます。

Color Modeにて Mix Color の出力された色調レベルを#B,#G,#R,#Am,#W
各色にて調整可能です。

2、Color Mode

#B,#G,#R,#Am,#W 5色の出力レベルを調整することにより SCENE を作ります。

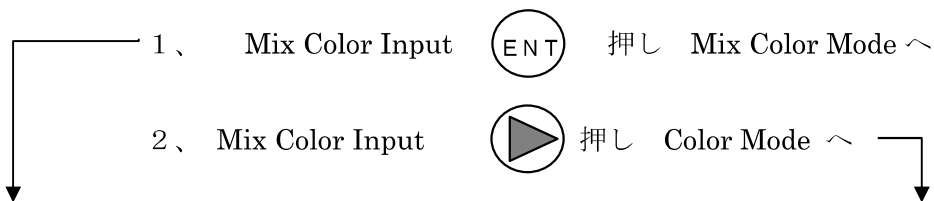
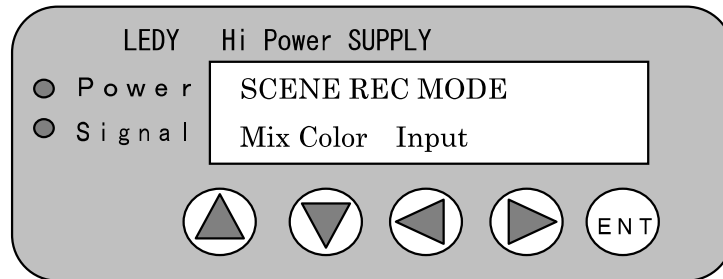
3、DMX 出力を記憶する。

※ STROBE の入力

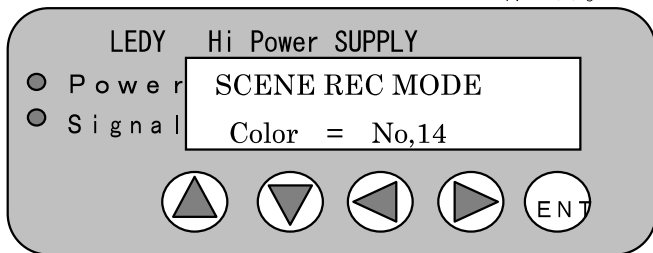
各シーンに対して ストロボ効果を入力することができます。

“STROBE” 出力にて 11%からストロボが点滅いたします。

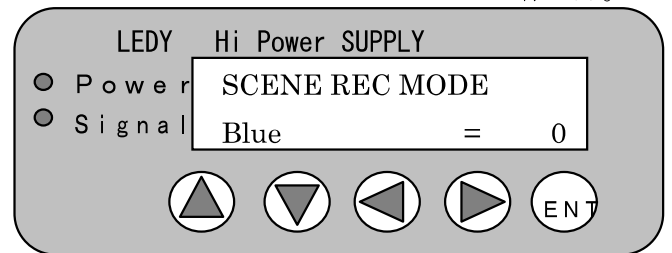
レベルが99%が最大 100%にて全点灯になります。



Mix Color による”SCENE”の作り方。



Color Mode による”SCENE”の作り方。



① Mix-Color の番号が表示されると共に 100%にて出力されます。

(Up/Down) ボタンにて任意の色を選ぶ。

① 最初に Blue = 0 の表示がされます。

(Up) ボタンを押すと出力され 100 にて Full になります

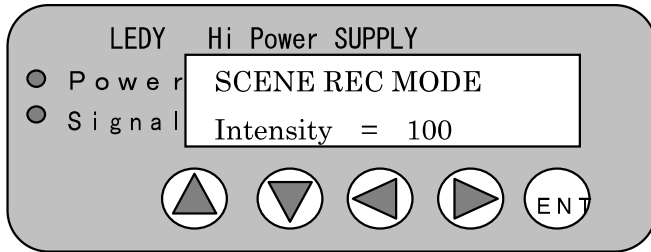
(Right) を押し #G,#R,#Am,#W,STROBE の順


に表示されますので (Up/Down) ボタンにて



出力レベルを決めてください。

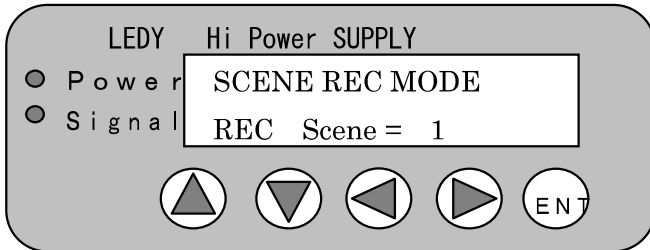
(Right) ボタンにて “STROBE” 表示まで送り

(Right) もう一度押し 下図を表示する。






 ボタンを押す。 “Intensity = 100” 表示

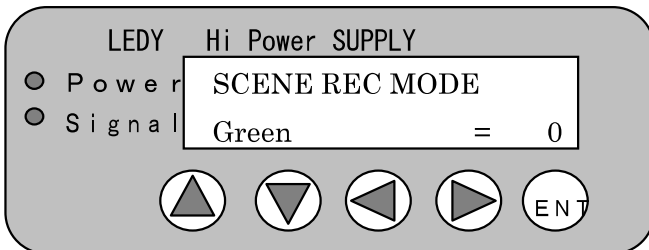
  ボタンにて出力レベルを調整。




 ボタンを押す。 ”REC Scene = 1 “ 表示されます。

  ボタンにて シーン番号を設定

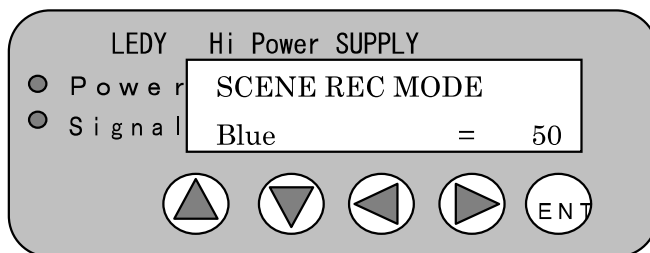
 にて シーン確定




MIX-Color の色の微調整

“REC Scene = 1” 表示の時に  ボタンを押します。

ディスプレイが下図のように 表示されます。

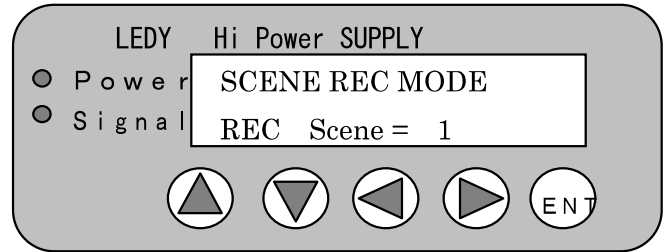



MIX-Color にて出力されている 色調レベルが表示されますので

“Color-Mode”と同様にレベル調整をし  にて確定します。

但し、修正した数値は MIX-Color の元の数値には反映されませんので

いくつかのシーンにて使用する場合は “SCENE REC”の時に 番号を選び複数の記憶してください。



 ボタンにて シーンの確定をします。

また、いくつか同様のシーンを作りたい場合はこの時にシーン番号を変え 記憶をすると便利です。

注意事項-1

CHASE のステップシーンは、

SCENE-1~SCENE-10 → CHASE-1

SCENE-1~SCENE-6 → CHASE-2

上記のように 通し番号でしか CHASE を作成できません。このため 同じシーンカラーを CHASE にて何回も使う場合は、あらかじめ同じ色をシーン番号に振り分ける必要があります。

注意事項-2

Mix-Color を使用して 各色にてレベルを修正 “SCENE REC” したのち そのシーンを REC Mode にて呼び出して元の Mix-Color を表示した場合 出力レベルが 元になっている Mix-Color になってしまいます。これは 記憶した数値が変更されているのではなく、ただ ROM の数値に基づいた色を出力しているだけですので、記憶したデータに変更はありません。

“SCENE REC”にて ENTER を押さない限り修正されませんので、“Mode EXIT” ENTER にて離脱してください。

Goto Scene PLAY


シーンの再生の注意点について

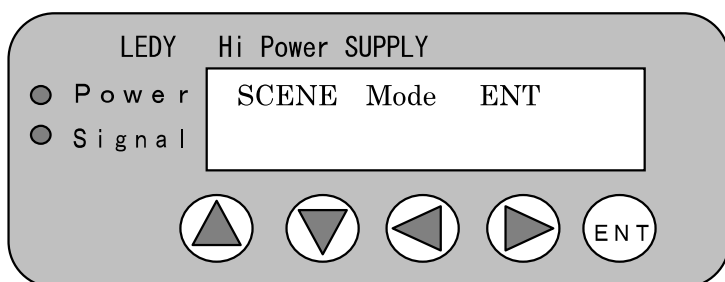
Scene PLAY モードにおいて 再生できるシーンは 1 シーンのみです。


また、Scene PLAY モードにて設定した場合、電源を一度落とし、再度電源を入れた場合 1 秒にて設定したシーンを再生いたします。

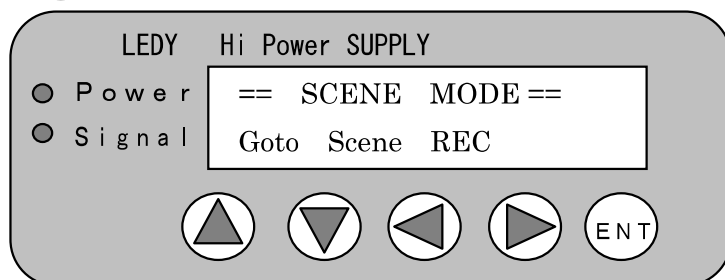
1 台の灯体にて シーンを変えたい場合は、CHASE Mode をご使用ください。

※Scene PLAY (シーン再生)の仕方。

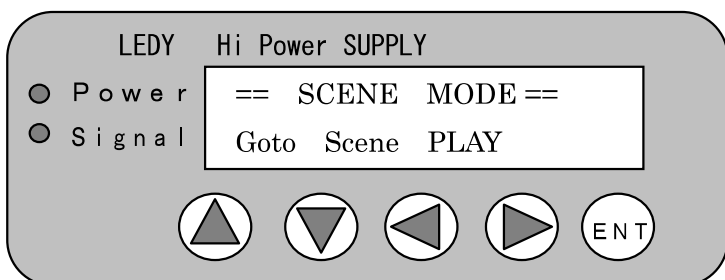
 ボタンにて 下図の表示させる。




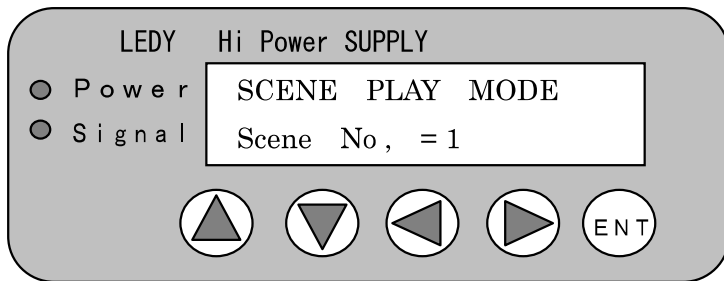
 ボタンを押し == SCENE MODE == に入る









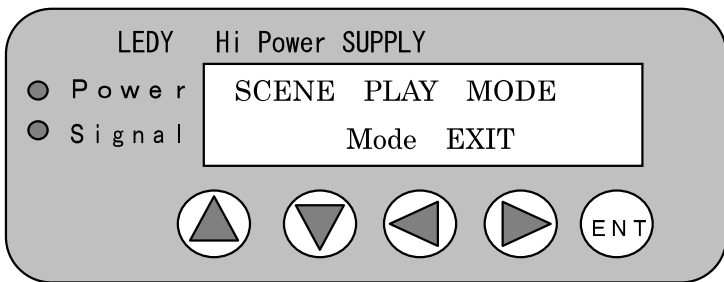
 ボタンを押し == Goto Scene PLAY == を表示



 ボタンを押し。シーン番号選択モードになる。




 ボタンにて シーン番号を選び  を押すとシーンが再生されます。
 この状態にて電源を落として、もう一度電源を入れると設定をしたシーンが再生されます。
 ※シーン再生は1秒にてフェードインします。
 シーン再生モードから離脱するには、  ボタンにて下図を表示させ  を押し 離脱します。



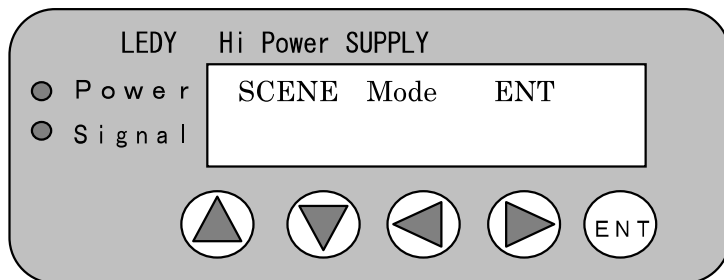
Mode EXIT → ENTER にて離脱すると 再生されていた明かりは 消灯します。

3、DMX 出力をシーンに記憶する方法

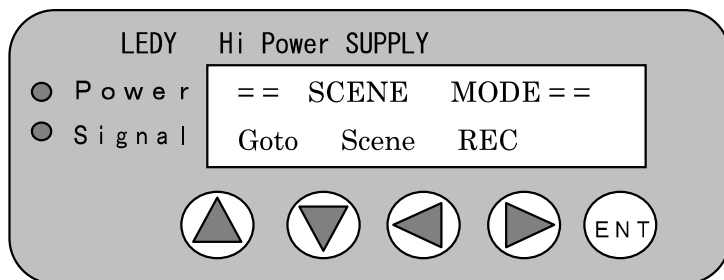
- DMX 出力の調光卓を接続し 1シーンごとにメモリーに記憶します。


Signal Lamp が緑色に点灯します。

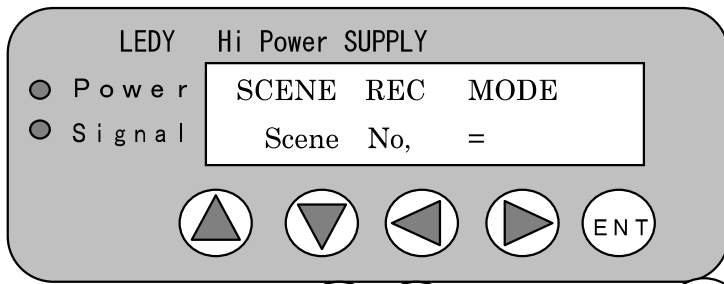
複数の灯体に記憶する場合は、各灯体の DMX 番号を確認して記憶してください。



① SCENE Mode ENT  ボタンを押す。



② Goto Scene REC  ボタンを押す。



③ Scenen No   ボタンにて設定  にて確定

④ 以上の操作をシーンごとに各灯体で行ってください。

注意事項




DMX 出力にてシーンを作成する場合、DMX 出力が最優先されます


このため、シーンに修正をする場合は再度 調光卓を接続してシーンに上書き修正をしてください。

現場にて記憶したシーンを修正する方法




(調光卓がない場合)

① “SCENE REC MODE“ REC Scene = シーン番号

修正するシーンを   ボタンによって選択します。  ボタンを押すと実行修正

②  ボタンを 1 回押すと #B のレベルが表示されます。

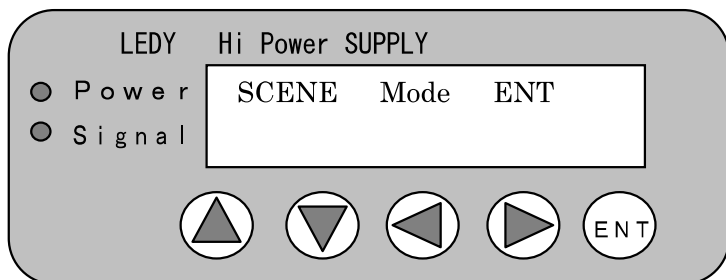
修正をする色を   選択して   ボタンにてレベルを調整し、

  ボタンにて “REC Scene = シーン番号” を表示。  ボタンにて修正完了

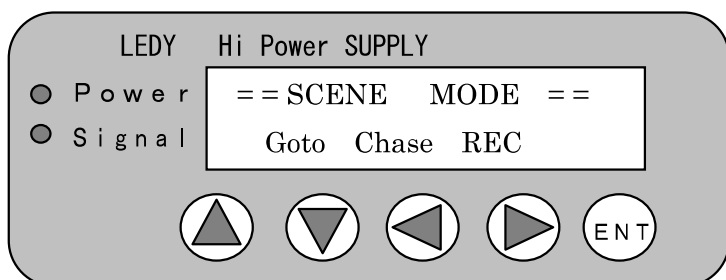
MEMO



CHASE シーンの作り方。

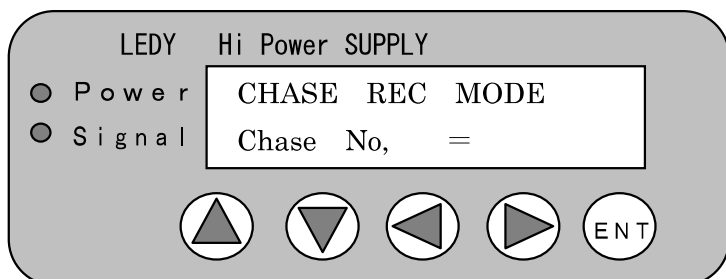
- ※ Chase シーンは 10 シーン作成できます。
- ※ Fade-IN 0 秒~3000 秒(50 分) Wait-Time 0 秒~3000 秒 (50 分) 設定可能
- ※ 1 Step(1-Scene)ごとに Fade-in, Wait-Time を設定することはできません。
- ※ Chase Step(Scene)は 1 scenen~5scene, 11scene~25scenen, のように連番のみでしか Chase Step を設定できませんので、あらかじめ “SCENE” を作成する時に “CHASE”を考慮して作成してください。



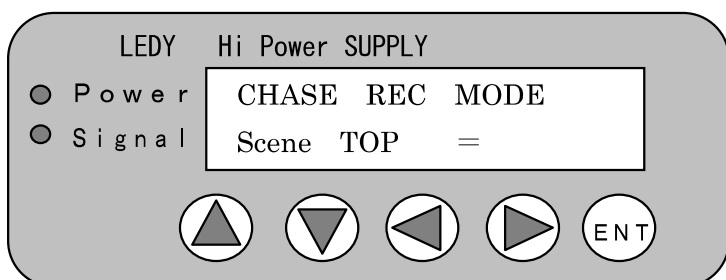
- ①   ボタンにて “SCENE Mode ENT” を選択  ボタンを押してください。



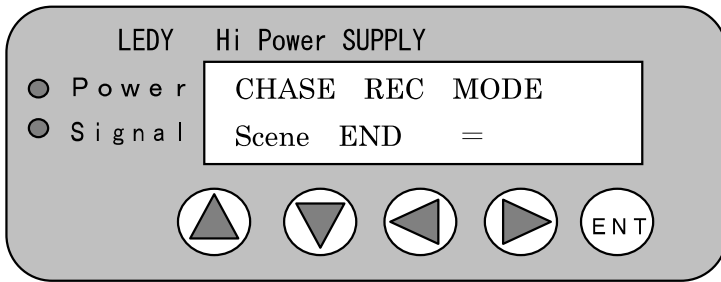
- ②  ボタンにて “Goto Chase REC “ を選択  ボタンを押してください。






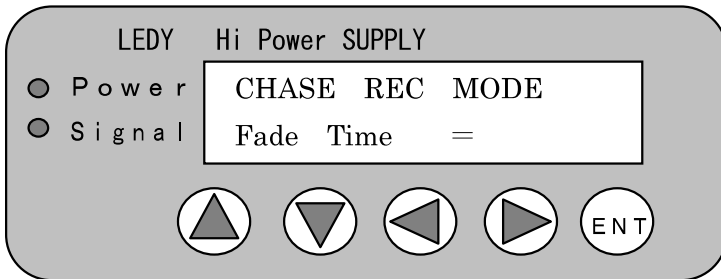
- ③   ボタンにて “CHASE No “ を決め  ボタンを押す。






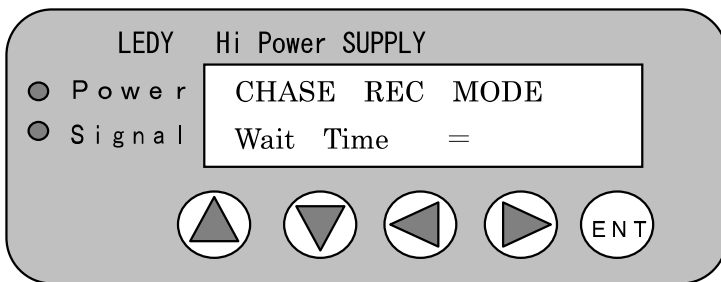
- ④ CHASE STEP の最初のシーンを   ボタンによって選択し  ボタンを押す。






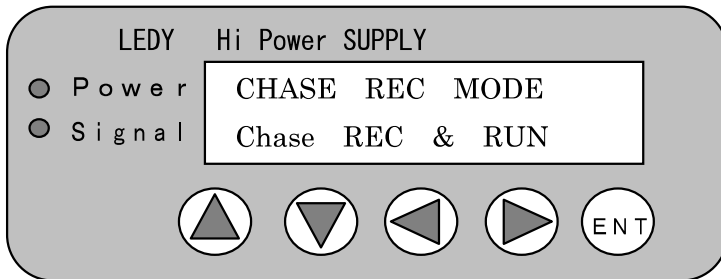
- ⑤ CHASE STEP の最後のシーンを   ボタンにて選択し  ボタンを押す。







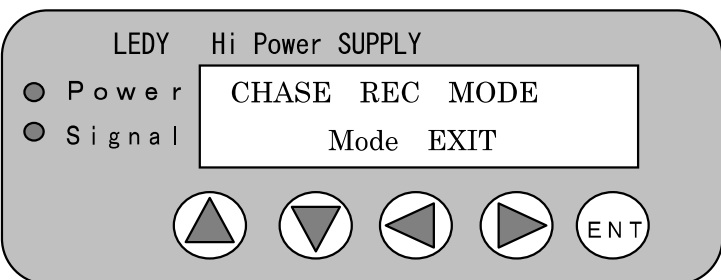
- ⑥ Fade-Time を   ボタンにて設定し、  ボタンを押します。



- ⑦ Wait Time を   ボタンにて設定し、  ボタンを押す。



- ⑧ “Chase REC & RUN” にて今記憶したデータを確認します。
 修正する場合は  ボタンにて修正箇所まで戻り データを   ボタンにて修正し
 “Chase REC & RUN” にて  ボタンを再度押し確定します。




CHASE シーン記憶が終了したら



 ボタンにて 上図の表記画面を出し、 ボタンにて モードから離脱してください。


離脱した時点にて 今まで実行していた明かりは消灯します。

☆☆☆ ボタン操作について

各 Mode から次の Mode に移行する場合  ボタンにて移行しています。

これは  ボタンを押す事により 必ず次のステップに進むからです。

同様に   ボタンによって 次のステップ、または、前のステップに戻る事も可能です。

データの記憶確定は “Chase REC & RUN “ にて  ボタンを押した時点にて確定いたします。

※SCENE の作り方でも説明しましたが、Scene No, Fade-in, Wait-Time, などで数値を早送り、早戻し方法

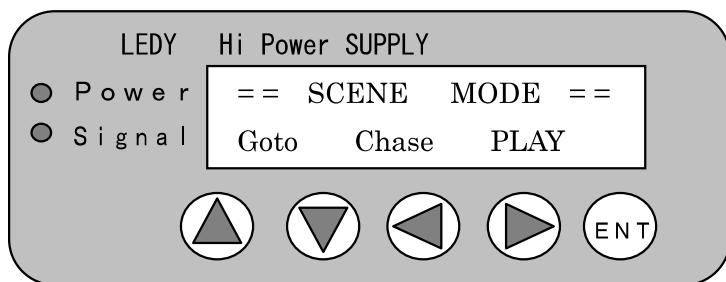
・早送り  押しながら  or  ボタンを押し続ける。

押し続けている間は 早送り状態です。

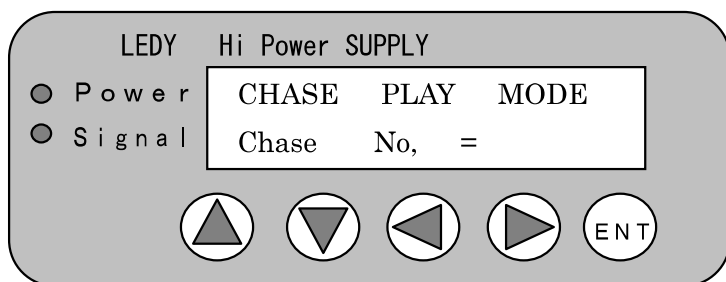
早送りを解除する場合は、  ボタンから指を放してください。

・早戻し  ボタンを押しながら  or  ボタンを押し続ける。

CHASE シーンの再生の仕方



① ◀ ▶ ボタンにて 上記を表示します。 (ENT) ボタンにて次のモードに移行します。



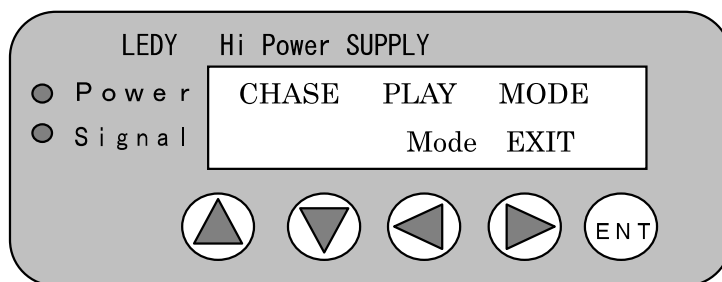
② ▲ ▼ ボタンにて Chase No を選択し、 (ENT) ボタンを押すと明かりが実行します。

※ CHASE PLAY MODE にて実行している明かりは、再度電源投入時に 実行いたします。

※

このため 違うモードにて使用する場合は、◀ ボタンを押し下記表示にして (ENT) を押し

“CHASE PLAY MODE”より 離脱してください。



★★

“CASCADE MODE”

本製品には 別途 LEDY 専用コントローラーをご購入いただきますと、999scene から Chase, Q, を作成、時間軸を細かに設定できるようになります。この製品専用のモード設定がこの “CASCADE MODE” です。

SCENE REC MODE

SCENE Mode ENT	Goto Scene REC	SCENE No, =	Mix Color Input	#B,#G,#R, #Am, #W, Strobe	REC SCENE =

Mix Color Input

Mix Color Input	#14	#16	#17	#18	#22	#31	#33	#35	#37	#38	#40	#45	#52	#55	#57
	#59	#64	#65	#67	DB	#72	#75	#78	#79	#83	#84	#85	#87	#88	Pu4
	coolW	W													

SCENE PLAY MODE

SCENE Mode ENT	Goto Scene REC	Goto Scene PLAY	Scene No, =

CHASE REC MODE

Goto Chase REC	Chase No, =	Scene TOP =	Scene END =	Fade Time =	Wait Time =	Chase REC & RUN

CHASE PLAY MODE

SCENE Mode ENT	Goto Scene REC	Goto Scene PLAY	Goto Chase REC	Goto Chase PLAY	Chase No, =

※※※ メモリーALL消去コマンド

SCENE, CHASE,メモリーを各 SCENE, CHASE の RECモード時に ◀▶ & (ENT) 同時に押して下さい。 記憶された全てのメモリーが消去されます。

危険

DMX 信号受信状態にて (SPOT ADDRESS 設定 Mode)

メインメニューにて ◀▶ ボタンを 2 秒以上長押しをしないで下さい。

ROM に書き込んでいる全てのデータが消去されます。間違っモードに入った場合は、▶ ボタンにて “Mode EXIT” を表記し (ENT) ボタンを押して下さい。

すべて初期状態になりますので 絶対にしないで下さい。

株式会社 ケイエムステーション

〒352-0011 埼玉県新座市野火止2-11-25

TEL:048-424-5620 FAX:048-424-5625

